

予 算 要 求 資 料

令和5年度当初予算

支出科目 款：商工費 項：商工費 目：商工振興費

事業名 アクティブG施設整備費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

商工労働部 県産品流通支援課 県産品振興係

電話番号：058-272-1111(内3816)

E-mail：c11370@pref.gifu.lg.jp

1 事業費	521,940 千円	(前年度予算額：	95,205 千円)
長寿命化分	456,241 千円	(前年度予算額：	82,917 千円)
一般分	34,512 千円	(前年度予算額：	12,288 千円)
UD化分	31,187 千円	(前年度予算額：	0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	95,205	0	0	0	4,577	0	0	79,700	10,928
要求額	521,940	0	0	0	4,577	0	0	0	517,363
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

- ・アクティブGは森ビル都市企画株式会社へ建物一括貸付けという公設民営方式により運営を行っている。
- ・施設所有者の県と管理運営を行う森ビル都市企画株式会社の施設修繕等の負担区分は「ワールドデザインシティ・GIFU賃貸借契約」で規定されており、県は経年劣化による施設の改造・改装、設備等の更新に係る経費等を負担している。
- ・2階東入口に段差があるため、階段横にスロープを設置するバリアフリー化工事をR5～6年度に実施する予定である。

(2) 事業内容

森ビル都市企画株式会社が実施するアクティブGの施設修繕等について、契約書の規定に基づき経費を負担する。

- ・計画修繕分
長期修繕計画により見込まれる県が負担すべき資本的支出のうち、関係法令に定めがあるものやメーカーによる推奨修繕周期等を超過しているものの計画的な修繕。
- ・長寿命化計画に計上されない1件1千万円未満の工事負担金等

(3) 県負担・補助率の考え方

県有施設の維持管理のため、契約に基づき県が負担するものであり、県負担は妥当。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
負担金	507,675	・ 県有施設長寿命化計画等に基づく計画修繕分
委託料	1,089	工事（2件） 447,295
補償金	13,176	工事事務費 8,946
		・ 1件1千万円未満の工事負担金等
		工事（7件） 28,934
		緊急対応分 5,000（急な故障等への対応分）
		工事事務費 578
		・ UD化分
		工事（1件） 16,590
		工事事務費 332
		補償調査費 1,089
		補償金 13,176
合計	521,940	

--

4 参考事項

(1) 後年度の財政負担

森ビル都市企画株式会社との賃貸借契約期間は令和元年度に締結した契約変更により延長され、令和3年4月1日から令和13年3月31日までとなっており、契約期間中は契約書に基づき経年劣化による施設の改造・改装、設備等の更新に係る経費を県が負担する。

事業評価調書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 ・岐阜県と森ビル都市企画(株)との間で結ばれている、「ワールドデザインシティ・G I F U賃貸借契約」で規定されている県の負担すべき修繕等（経年劣化による施設の改造・改装、設備等の更新に係る経費等）を実施し、アクティブGの運営及び安全管理を着実に遂行する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R3年度 実績	R4年度 目標	R5年度 目標	終期目標 (R5)	
					達成率	
①アクティブG 年間入館者数		466万人	500万人	500万人	500万人	93.2%
②アクティブG 店舗入居率		94.7%	100%	100%	100%	94.7%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> ・計画修繕分として、重量シャッター部品交換、EHP更新等を実施。 ・定期点検等で発覚した軽微な修繕箇所について、給水ユニット部品取替や従業員駐車場シャッター修理工事などを緊急修繕として実施。 ・必要性、緊急性の高いものから順次修繕することにより、アクティブGの適正な運営及び安全管理を徹底できている。
	指標① 目標：500万人 実績：351万人 達成率：70%
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> ・計画修繕分として、重量シャッター修繕、エスカレーター部品交換等を実施。 ・自動ドアや中央搬入口シャッターなど故障等が生じた設備について緊急修繕を実施し、施設利用者の安全性を確保した。 ・必要性、緊急性の高いものから順次修繕することにより、アクティブGの適正な運営及び安全管理を徹底できている。
	指標① 目標：500万人 実績：466万人 達成率：93%
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・ 事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない	
(評価) 3	アクティブGは、JR岐阜駅周辺を県都岐阜市にふさわしい玄関口とするために必要不可欠な施設である。したがって施設の適正な運営及び安全管理のため、本事業は必要不可欠である。
・ 事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3 : 期待以上の成果あり 2 : 期待どおりの成果あり 1 : 期待どおりの成果が得られていない 0 : ほとんど成果が得られていない	
(評価) 2	必要性、緊急性を考慮して修繕し、適正な運営及び安全管理に努めており、生命に関するような大事故はこれまで発生しておらず、概ね期待どおりの成果を得られている。
・ 事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている	
(評価) 1	法律等により交換が義務づけられているもの、利用者の安全確保に直結するものを優先的に修繕し、効率的な実施を図っている。

(今後の課題)

・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 アクティブGは築20年を超える一方で、耐用年数が10年の機器が多く、交換・修繕箇所が増加してきている。

(次年度の方向性)

・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか ・ 賃貸借契約について、R12年度末まで延長する変更契約を締結しており、今後も引き続き施設の適正管理を行わなければならない。 ・ JR岐阜駅は、県都岐阜市の玄関口であり、引き続き賑わい創出に力を入れていく必要があるため、今後もアクティブGの適正な運営及び安全確保に努めていく必要がある。
